

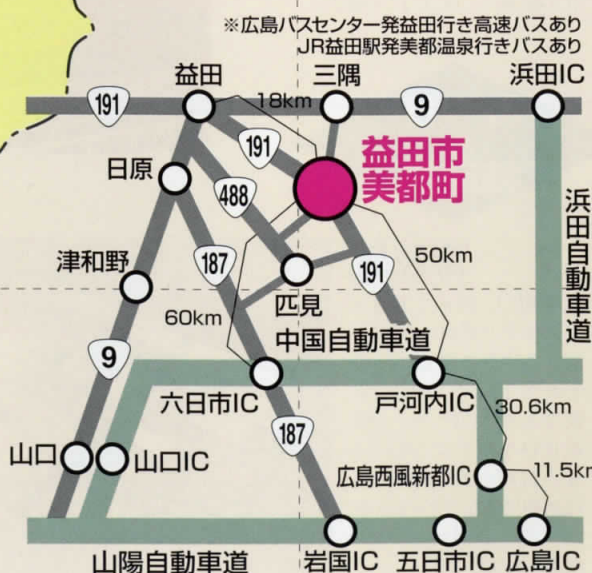
四季の自然に
歴史が彩りをそえる



「三谷のゲンジボタル」
美都地域では、シーズンになると各地でボタルが見られますが、特に三谷地区では、ゲンジボタルの乱舞が見られ、「幽玄の世界」に浸ることができます。毎年5月下旬から6月下旬の1ヶ月ボタル鑑賞ができます。



観光のお問い合わせ / 美都町特産観光協会 ☎ (0856) 52-2537



1 ひだまりパークみと ゴルフ広場

☎(0856) 52-7056

(B-4)

益田川ダム畔の「ひだまりパークみと」のゴルフ広場は波田川流域に面した97,000m²の河川敷に「オーケーゴルフ」、「グラウンド・ゴルフ」、「ターゲットパードゴルフ」と3通りのゴルフが楽しめるゾーンです。澄んだ空のもと周辺の四季の美しい緑と波田川の清流に囲まれた、広々とした芝生の上で日頃のストレスを解きほぐしてください。



四季の自然に歴史が彩りをそえる 島根県益田市美都町



■観光のお問い合わせ/美都町特産観光協会 ☎(0856) 52-2537

7 四ツ山城跡

(B-3)

鎌倉時代中期に益田氏が築城した山城です。戦国時代には毛利氏と尼子氏の対立を背景として、隣国の三隅氏との間で戦いが繰り返されました。江戸時代に廃城となりましたが、今も井戸や堀切の跡などから当時の様子がうかがえます。四ツ山は名前のおとりの高さも形も同じ4つの山が屹立して東西に並んでおり、その姿・形の美しさから地域の象徴として人々に親しまれています。



10 金谷城山桜

(E-5)

金谷の入船山城跡にあり、築城当時に植えられたと伝えられ、樹齢約570年、樹高15m、根回り周囲7.15m。地上2~3mのところできく分岐し、その枝張りは東西19m、南北25mあります。樹種はエドヒガン(アズマヒガン)。島根県の指定文化財・天然記念物に指定されています。



4 道の駅「サンエイトみと」

☎(0856) 52-3644

(G-3)

美都温泉の入り口にある道の駅で、美都町の特産品の販売コーナーや食堂などがあり、観光客やドライバーの憩いの場として人気を集めています。



8 秦佐八郎博士生家

☎(0856) 52-2415

(F-4)

秦佐八郎は明治6年(1873)美都町都茂に生まれ、26歳の時に上京して北里柴三郎博士に師事、細菌学の研究に励み、その後ドイツに留学し、エールリッヒ博士とともにスピロヘータの特効薬サルバルサン606号を発見しました。以後も北里博士の下で研究を続けて数々の業績を残しました。生家の隣には秦記念館があり、博士の一生を物語る多数の資料と遺品が展示されています。



11 双川峡・養戸の滝

(H-2)

美都町を代表する景勝地である双川峡の中心をなす養戸の滝。古樹の間から20mあまりの水束が落下するさまは壮観です。滝の近くには京都清水から飛来した十一面観音の語り伝えのある六地藏・観音堂があり、銀杏の大樹(胸高周囲5.6m、高さ33m)がそそり立っています。入口の駐車場から滝に至る遊歩道には、町内や近郊の人々が詠んだ短歌を刻んだ石碑が点在し、訪れる人々を楽しませてくれます。(県・名勝)



2 ひだまりパークみと スポーツ交流広場

☎(0856) 52-7056

(B-3)

全天候型で快適にスポーツが楽しめる「さくらドーム」は、2,142m²の人工芝グラウンドに、テニスなら3面、フットサルなら2面、ゲートボールなら4面のコートを配することができます。その他屋外には、せせらぎ公園や天然芝のサッカーコート(2面)と多目的広場などがあります。



5 美都温泉「湯元館」

☎(0856) 52-2100

(G-3)

つるつるとした、まろやかなお湯が評判のアルカリ性単純温泉。効能は神経痛、関節炎、冷え性、打ち身、痔疾など。美都温泉の中核施設である「湯元館」には、大浴場、露天健康風呂、食堂などが完備し、すぐ側を流れる矢原川の対岸には旅館や民宿もあり、町民や周辺の町村から訪れる日帰りや宿泊での湯治客で賑わっています。



9 大久保広兼石州和紙資料館

☎(0856) 52-2508[昼]/(0856) 52-2750[夜]

(F-5)

承応元年(1651)に御用紙漉を仰せつけられた大久保(廣兼)の初代・廣兼又兵衛重長以後、200年の間、浜田藩の御用紙漉を務めた廣兼家の13代に及ぶ資料を展示しています。隣接して宿泊施設「かみの宿」があります。



12 若杉天然杉

(I-3)

樹齢数百年といわれる杉の老木(直径2.3m)のほか、一帯には直径60cmをこえる天然杉30数本、樺、松、樅などの大木も見られ、貴重な天然林として保存されています。



3 ふれあいホールみと

☎(0856) 52-2295

(E-4)

まちづくり、地域づくりのための集いや交流、各種の研修や学習の場として幅広く利用されています。また、文化・芸能活動にふれたり、外部との交流を行うことで文化の振興にも役立っています。



6 みと自然の森

☎(0856) 52-2212

(G-5)

あざやかな緑、澄んだ空気に包まれて、思いきり心身をリフレッシュできる場所、それが「みと自然の森」です。山小屋が10棟、バーベキューハウスが2棟、調理設備を備えたキャンプ場、遊歩道などがあり、家族づれやグループで賑わいます。とくに春の新緑、秋の紅葉の美しさはひとしお。夏には森の中を流れる清流で釣りや川遊びも楽しめます。



● 石見神楽

美都町の無形民俗文化財指定、三谷神楽社中と丸茂神楽社中の2つがあります。三谷神楽社中は明治初年の始まりで、六調子から現在は八調子。丸茂神楽社中は、明治25年に美都町に移り住んだ大野家を中心として結成され、現在に至ります。地域の秋まつりなどで奉納されます。



13 後山都茂屋のヤブツバキ

(G-5)

ヤブツバキは北海道を除く日本各地に分布する、ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹です。地上30cm部分の幹周りが3.65m、その直上から6本に分岐し、さらに四方に樹幹を広げています。一番大きい枝幹は基部で周囲2.2mで、樹高は約8m、枝張りは東西に11m、南北に15.8mにも及びます。樹齢は数百年、千年以上とも。(県・天然記念物)



みやげ & 特産品

炭製品

美都町は、雑木や竹など良質な炭の原料に恵まれ、昔から炭作りが盛んに行われてきました。現在も木炭や竹炭をはじめ、土壌改良材や床下炭、炭まくらなど、日常のあらゆるシーンに活用できる、さまざまな炭加工品が名産品として人気を集めています。



ゆず製品

町を代表する産品の一つ、ゆずは、さわやかな香りが特長です。町内では「ゆずみそ、ゆずぼん、ゆずまんじゅう、ゆずドレッシング、ジュース」などのゆず加工品も生産されており、美都ならではの土産品として親しまれています。



みそ・ゆべし等

美都の美しい自然の中で作られた野菜や山菜、果実、その他加工品、伝統工芸品などは、お土産やギフトとして多くの方に親しまれており、道の駅「サンエイトみと」をはじめ町内各所で買い求めることができます。



いちご

肥沃な土地と美しい水に育まれた美都いちごは、瑞々しい果肉と、ほどよく甘酸っぱいいちご本来の味が好評です。そのまま食べてよし、ジャムなどの加工品にしても良しの、美都が誇る名産品です。

